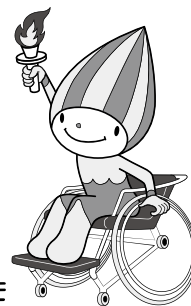


開催中!

2012 第12回全国障害者スポーツ大会
心をひとつに 日本再生



ミナモ

平成24年

10月13日(土)

～15日(月)開催

ぎふ清流大会

輝けはばたけだれもが主役

問合せ先

福祉課

☎35-3139

全国障害者スポーツ大会とは

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある方が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある方の社会参加の推進に寄与することを目的とした障がい者スポーツの祭典です。大会はオリンピック終了後に開催されるパラリンピックのように、国体終了後に3日間の会期で開催され、全国から都道府県と政令指定都市の選手団や役員ら約5,500人が参加します。

高山市からも16名の選手たちが予選を経て岐阜県代表として大会に出場しています。

陸上競技

身体障がいのある選手と、知的障がいのある選手の競技です。

障がい者スポーツ特有の種目を設け、使用する用具を工夫するなどして、3競技全15種目が行なわれます。

- 競走競技、跳躍競技、投てき競技の3つを実施します。
- スラローム、ビーンバッグ投げなど、障がい者スポーツ特有の種目を設定したり、障がいに応じた競技規則を定めるなどの工夫をしています。
- 車椅子使用者の競走競技では「レーサー」と呼ばれる競技専用の車椅子を使用して競技を行ないます。
- 競技場内には、競技者のほかに必要に応じて介助者や伴走者の入場が認められています。
- 視覚障がいのある選手は、トラック種目では伴走者を付けたり、跳躍や投てきの種目では、音や声などで跳ぶ方向や投げる方向などを知らせて競技を行ないます。

卓球競技

身体障がいのある選手と、知的障がいのある選手が競技します。

卓球とサウンドテーブルテニスの2種類があります。

◎卓球（身体・知的）

- ルールは通常の卓球とほぼ同じです。
- 肢体不自由のある選手と知的障がいのある選手は、ラケットを持っていない手がコートに触れても失点とはなりません。
- 障がいの状態によって、サービスの規定を緩和することができます。

◎サウンドテーブルテニス（身体）

- 視覚障がい（視力0から0.03まで、視野5度以内）のある選手が競技します。
- 継目のない専用の台で、ネットの下を金属球が入ったボールを転がし、その音を頼りにラバーの張っていないラケットで打ち合います。
- 障がいの程度によるハンディを調整するため、選手は全員アイマスクをします。

バレーボール競技

身体障がいのある選手と、知的障がいのある選手と精神障がいのある選手が競技します。

聴覚障がいのある選手は6人で男女別に競技します。

- 6人制バレーボールのルールにより競技が行なわれます。
- 選手には音が聞こえにくいので、審判はホイッスルだけでなく大きな動作でサービスの合図などを出します。
- ネットの高さは、男子2.43m、女子2.24mです。
- 試合は、1セット25点のラリーポイント制で3セットマッチです。